

令和3年度 大阪府立茨木工科高等学校(全日制の課程)

第2回 学校運営協議会

令和3年12月1日(水)

午後3時30分～5時00分

大阪府立茨木工科高等学校 会議室

1. 開会の挨拶 (大阪府立茨木工科高等学校 校長 杉山 裕二より)
コロナ禍での学校の現状

2. 座長挨拶

3. 出席者紹介 (大阪府立茨木工科高等学校 教頭 井上 直人より)
 - ・本津 茂樹(近畿大学 名誉教授)
 - ・野村 明仁(茨木市立西中学校 校長)
 - ・諏訪 年信(茨陵会 理事)
 - ・中藪 ひとみ(大阪府立茨木工科高等学校 元PTA会長)
 - ・丸尾 弘子(大阪府立茨木工科高等学校 PTA会長)
 - ・俵 比呂志(春日地区自治連合会長)

事務局

- ・杉山 裕二(大阪府立茨木工科高等学校 校長)
- ・井上 直人(大阪府立茨木工科高等学校 教頭・事務局長)
- ・植木 邦彦(大阪府立茨木工科高等学校 事務局長)
- ・龍 忠男(大阪府立茨木工科高等学校 首席)
- ・三好 賢治(大阪府立茨木工科高等学校 首席)
- ・橋爪 勇一郎(大阪府立茨木工科高等学校 首席兼工学系長)
- ・岡 和憲(大阪府立茨木工科高等学校 教務部長)
- ・東郷 真明(大阪府立茨木工科高等学校 生活指導部長)
- ・堀田 隆志(大阪府立茨木工科高等学校 機械系長)
- ・浦部 裕之(大阪府立茨木工科高等学校 電気系長)
- ・木村 馨(大阪府立茨木工科高等学校 環境化学システム系長)
- ・福田 和希(大阪府立茨木工科高等学校 教諭)
- ・高橋 修平(大阪府立茨木工科高等学校 教諭)

4. 令和3年度 本校教育活動について協議（司会：座長）

4-(1). 議題「令和3年度 学校経営計画及び学校評価」（校長）

- 1 めざす学校像（昨年度と同様）
- 2 中期的目標（昨年度と同様）
- 3 本年度の取扱内容及び自己評価より

1 「確かな学力」の育成

- ・(1)ア 学校教育自己診断の結果は12月末になります。第3回学校運営協議会で報告させていただきます。
- ・(1)イ 11月1日時点で退学者は4名、中退率は0.72%である。目標の1.5%未満になるよう、努力する。
- ・(1)ウエ 結果は第3回運営協議会で報告させていただきます。
- ・(2)ア 工学系の理工系進学の名は指定校推薦（工科枠込み）受験中であり、結果は未定である。わかり次第報告させていただきます。

2 安心安全で魅力のある学校づくり

- ・(1)ア 年間遅刻者1000件以下を目指します。10月末の遅刻件数は699件です。昨年の888件でした。
- ・(3)ア 現在の部活動加入率は45%（3年生 49%、2年生 48%、1年生 35%）です。コロナ過で少し滞っております。もう少し、入部率を上げるよう努力します。
- ・(4) 各先生の健康管理、時間外勤務の削減、そして楽しい職場づくりをします。0人を目指します。

3 自立・自己実現の支援

- ・(2)ア 電気系2年生の第二種電気工事士合格率上期70.6%（34人中24人）ですが、下期の筆記試験合格は7人でした。昨年は62.9%です。目標の合格率75%以上を達成したいと思います。
- ・(2)イ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえまして企業訪問を中止し、電話にて聴取または対応しており、現在企業訪問数（電話数）93社。企業からの電話が30社程度となっております。第一次就職試験合格率は78.5%と大差はありません。

4 地域連携・地域貢献の取り組みの推進

- ・(2)ア 3年生課題研究で製作した朝礼台を茨木市立西小学校、茨木市立太田中学校に寄贈予定です。大変好評をいただいております。
- ・(3)ア 本校は今年度定員割れをしており、中学校のPRが喫緊の課題です。PRによって中学生が我が校の受験を考えてくれるよう努力します。

Q&A

特になし。

4-(2). 議題「令和4年度 使用教科書選定について」(三好 賢治 首席)

- ・P4～P8は令和4年度 使用教科書選定理由一覧表です。

Q&A

Q：教科書はどのように選定されているのか。

A：各教科内で選定している。各教科内の先生方で話し合っていて決めている。

Q：生徒から直接的な意見は考慮しているか。

A：全生徒からの直接的な意見は聞いていないが、授業などで生徒から意見を聞くことはある。生徒が全員教科書を持ってきているかどうかわからない。

Q：教科書を発注されるのはいつですか。

A：発注は7月ごろです。

4-(3). 議題「令和3年度 生徒指導について」(東郷 真明 生活指導部長)

- ・遅刻数1000件以下を目標。
- ・引き続き大幅な遅刻削減をめざす。
- ・R3年度4～10月までの遅刻数(累計)と9.10月時点の学校全体の遅刻数の割合を載せています。
- ・R2年度は4.5月休校、6月分散登校のため、R3年度との比較対象にはできない。
- ・昨年と今年、一昨年と今年を比較して、その増減をまとめている。
- ・R3年度4～10月の遅刻数は昨年と比べて15%増(学校全体)であったが、一昨年と今年を比較すると5%減となっている。
- ・9月の3年生遅刻が昨年と比べて40%増となっている理由として、R2年度は就職時期が後にずれ込んだためであることが挙げられる。
- ・5分前登校を習慣付けさせるとともに、各担任が廊下に立って声掛けを行っていく。
- ・全学年、自動車交通安全講習を実施。
- ・交通マナーの苦情が数件。
- ・4月～10月まで登下校中の道路上での保健室に来室人数
1年12件、2年8件、3年2件 総件数22件 (昨年度 50件)

Q&A

Q：自転車が2.3列になっている。何か地域で協力できることがあれば言ってください。

A：ありがとうございます。

Q：先生方のご指導の熱意は生徒に伝わっていると思います。生徒の意識改革が必要。

A：全教員で協力し、遅刻数を減らせるよう指導します。

4-(4). 議題「令和3年度 進路指導部 進路決定状況」(川地 良明 進路指導部長)

- ・第15期生(現3年生)の進路結果(令和3年度11月末現在)
- ・3年生の就職先はすべて決定しました。昨年は年をまたいだのですが、今年は早く決定しました。
- ・2次受験をした生徒は28名で3次受験をした生徒は1名です。

- ・求人企業数は年々増加しており，11月中旬で989件あります。
- ・学校全体の四年制大学へ進学する割合が67.5%，工学系の四年制大学へ進学する割合が66.7%で昨年より増加した。

Q&A

Q：ヤマザキ製パン(株)の求人はきていたか。

A：ヤマザキ製パン(株)は今年度求人がありましたが，応募する生徒がいませんでした。

4-(5). 議題「令和3年度 工学系の取り組みについて」(橋爪 勇一郎 首席 兼 工学系長)

- ・希望制の講習は平日3時半～5時に主に「数学」「英語」を実施。
- ・工科高校推薦で活用される「実力診断テスト」の受験回数は昨年2回実施だったが，今年は4回実施になる。
- ・「大学入学共通テスト」の受験だが，指定校やAOなどで利用することは少ない。今年度は24名中9名。
- ・1年1月(予定)，2年6月に「実力診断テスト」を実施後，1～1時間半程度，ベネッセの方に講演していただいた。
- ・1年生 福知山公立大学出張講義を9月に本校で実施した。公立大学にも目を向けてほしいという意図がある。AIに関する授業をされた。
- ・PR活動として中学校や塾に訪問する。共通した学校説明ができるよう，説明内容を教員間で共有している。

Q&A

Q：中学生徒に提供するツールはどんなものがあるか。伝える手段を考えていかないといけない。

A：QRコードをつけて，実習体験の様子を見れるようにしている。

Q：資料館新聞に動画のQRコードを載せてみてもらおうと考えている。東淀川地域の人たちにもPRしていきたい。

A：HPのQ&Aにそのようなことは掲載している。実習の様子をまとめた動画を作成しました。今後アップロードしていきます。

Q：FacebookやInstagramで学校情報を発信していますか。

A：クラブが運営しているFacebookやInstagramはありますが，学校としてはありません。

Q：関西県内や近隣の公立大学へ出張講義をお願いしてみてもはどうですか。

A：わかりました。今後検討させていただきます。

4-(6). 議題「質疑および意見交換」(その他)

- ・PBL, IOTに取り組んでいる。
- ・総合的な探究の時間+課題研究で本校の特徴であるIOTを発展させていく。
- ・現在は龍先生を中心にドローンを活用した実習を検討中。
- ・予算は約1000万円。

Q&A

Q：部屋を確保できているのか。

A：空き教室や実習教室などがありますので、部屋は確保できています。

Q：1000万円はすくないですね。先生はだれが中心となって行うのですか。

A：三好です。今後の方針としましては、グループワークやペアワークの機会をつくり、PBLに触れるようなことをしていきたい。

Q：グループごとになにか作られてもいいんじゃないかな。

A：そうですね。まずは課題発見から。

5. 閉会の挨拶(校長)

6. 事務連絡(教頭)

令和3年度第3回学校運営協議会の予定 2月中旬